

blue

A board game for 3 players with a variant for 2,
by Néstor Romeral Andrés

はじめに

ブルー(BLUE)は、3色に彩色されたタイルを並べて3人で遊ぶゲームです。同じ作者による「レッド(RED)」と「ホン(HONG)」とを組み合わせたようなゲームです。

ゲームではホワイト、グレー、ブルーの3色を使用します。タイルには下図の3種類のタイプがあります。



各タイルには2つの違う色の半円とそれら半円とはまた違う色の直線が描かれています。半円と直線の組み合わせでできるタイルの種類は3種類です。

「線分」とは、1本の直線、または複数の同じ色の直線を1列につないだ長い直線の両端に、直線と同じ色の2つの半円を配置したものです。「スポット」とは、2つの同じ色の半円を、間に直線を挟まずに配置したときにできる円の事です。



ホワイトの線分



ホワイトのスポット

プレイヤーは自分のターンで、自分の色の「線分」と「スポット」が、できるだけたくさんできるように、タイルを配置してゆきます。

遊具

- 18枚のタイル x 3タイプ (合計 54枚)
- 黒いカウンター x 18個
- ホワイト、グレー、ブルーのカウンター x 各1個
- ケース

遊び方

すべてのタイルを表向きにして脇に並べ、3人の間にタイルを配置するためのスペースを作ります。

任意の方法で各プレイヤーの色を決め、自分の色を示すために、各自それぞれのカウンターを傍に置きます。プレイヤーは次のルールに従って、自分のターンで、脇に並べたタイルの中から1枚ずつ選んで(各自どのタイルを選んで構いません)配置してゆきます。

ホワイト→グレー→ブルーの順でプレーします。

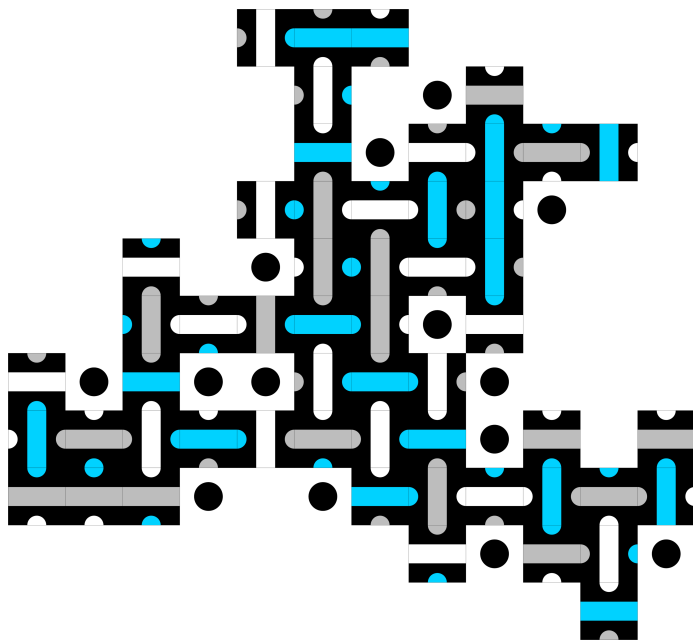
- タイルは、すでに配置されたタイルと、少なくとも1辺を、角と角をぴったり合わせて接するように配置します。(最初に配置するタイルはもちろん例外です。)
- タイルは、すでに配置されたタイルと、同じ色の直線、半円で繋がるように配置します。

プレー中、タイルを配置できない場所ができたらずぐに、目印として黒のカウンターを置きます。

タイルが配置できなくなったらゲームは終了です。

得点

線分は(長さに関係なく)10点、スポットは1点で計算します。もっとも得点の高いプレイヤーの勝ちです。



終局例:

ホワイト: 線分 9 + スポット 0 = 90点、グレー: 線分 8 + スポット 1 = 81点、ブルー: 線分 7 + スポット 3 = 73点。
白の勝ちです。

派生ゲーム

タイルは裏返しに並べておきます。プレイヤーは表側を見ずに選んだタイルを配置しなければいけません。

タイルの数を減らすとプレー時間を短縮できます。(3タイプのタイルの数は同数にします。)

2プレイヤー・ゲーム

3色のうち、2色をそれぞれのプレイヤーの色とし、3つ目の色は相手をブロックするために使います。

戦略

他のプレイヤーの線分を伸ばすようにタイルを配置する、タイルを配置できない場所を作ってブロックする、自分の線分はできるだけ早くクローズする、などが有効な手です。